

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 7 (2025) 年 1 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

新春のご挨拶



武田 隆久

日病・診療情報管理士教育委員会 委員長

武田病院グループ 理事長

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、本年も益々ご健康でご活躍されますことを心からお祈り申し上げます。

本年の干支は「巳」(蛇)です。蛇は古来より日本や世界の多くの文化において特別な意味を持っています。まず、蛇は再生と変化の象徴とされています。脱皮をすることで古い皮を捨て、新しい自分へと生まれ変わる姿は、私たちにとって重要なメッセージを発信しています。新年を迎えるにあたり、古い習慣や思考を見直し、新たなスタートを切る機会にしたいと思います。

さらに、蛇の動きは流れるようで柔軟性があります。この特性は、困難な状況にあっても柔軟に対応することの重要性を示唆しています。変化の多い時代において、自分自身の考え方や行動を柔軟に変えることが成功への鍵となるでしょう。

医療界では、AI(人工知能)の活用がさらに進むことが予想されています。AIを用いた診断支援システムや医療画像解析の技術が進化することで、診療の効率化や精度の向上が期待されています。これに伴い、診療情報管理士もAI技術の導入にあたっての知識を深め、その活用法を理解する必要があります。特に、AIの結果を正確に解釈し、医療現場での実践にどのように活かすかという点が重要です。

さらに、データの解析能力も求められるようになります。診療情報管理士が集めた患者データは、医療の質を向上させるための貴重な資源です。ビッグデータ解析を通じて、疾患の傾向や治療効果を評価することができ、これにより、予防医療などの実現が図られるでしょう。そのためには、統計学やデータサイエンスの知識を身につけ、データをどのように活用するかを考える力も必要となります。

このように、2025年において診療情報管理士の展望は多岐にわたりますが、その資格取得を目指す皆様におかれましては診療情報管理士の役割を再認識し、蛇のように前進を続けながら、様々な変化にも適応できる知恵や柔軟性を身につけていきましょう。